PVC welding rod,有限会社ティークラフト,R09-AA-BB-CC

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: PVC 溶接ロッド（PVC welding rod）
- 製品品番: 5003R9、R9-1、5003R9-57T、5003R9-70T、R09-AA-BB-CC 他
- 推奨用途: プラスチック溶接機を使用した破損した PVC 部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱・燃焼時に塩化水素や一酸化炭素等の有害な煙・ガスを発生するおそれあり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は塩化水素等の刺激性・有毒なガスが発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 成分情報:
  - ポリ塩化ビニル（PVC）: 含有量 95〜99%、CAS 番号: 9002-86-2
  - ジブチリンメルカプチド（安定剤等）: 含有量 1〜5%、CAS 番号: 10584-98-2

4. 応急処置

- 目に入った場合: 樹脂粒子が不活性材料として機械的に眼を刺激する場合がある。無理にこすらず、大量の水で直ちに洗い流すこと。刺激が続く場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では異常な皮膚炎の危険はない。溶融した高熱の物質が皮膚に付着した場合は、直ちに冷水等で冷却すること。付着物を無理に剥離しようとすると重度の組織損傷を引き起こすため避け、速やかに医師の診断を受けること。
- 吸入した場合: 樹脂粒子や加熱時の煙を吸入して上気道への刺激等を感じた場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させ、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 飲み込むと有害のおそれがある。万が一飲み込んだ場合は、無理に嘔吐させず、速やかに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 二酸化炭素ブランケット、水噴霧、乾燥粉末、フォーム（泡）等。
- 特有の危険有害性: 火災条件下で塩化水素（HCl）、一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO2）、窒素酸化物（NOx）その他の有害物質や煙を放出することがある。
- 消火作業者の保護: 陽圧モードのフルフェイス自給式呼吸器（SCBA）および防火服等の適切な保護具を着用し、有害な浮遊物質やガスの吸入を防ぐこと。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 清掃中は、不浸透性の手袋、長靴、つなぎ服など適切な保護具を着用すること。材料を回収し、適用される規制に従って廃棄容器に入れること。下水道や水路へ流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 水分の吸収と汚染を避けるため、容器を乾燥させて密閉して保管すること。静電気の蓄積を防ぐための措置を講じること。適切な換気のある場所でのみ加熱作業を行うこと。
- 保管: 乾いた涼しく換気の良い場所に保管すること。直火や熱源、酸化剤から遠ざけること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
- 設備対策: 通常の作業では特別な換気は必要ないが、加熱時等で換気が得られない場合や高濃度の気体・フュームが生じる場合は、全般換気および局所排気装置を設けること。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に塩化水素ガスや煙が発生する場合や、換気が得られない場所で作業を行う場合は、適切な呼吸用保護具（国家検定合格品、または NIOSH 認定等の防毒マスク等）を着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋（または不浸透性手袋）を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 切削・研磨時や樹脂の飛散時、または粒子が目に入るおそれがある場合は、ゴーグルまたは安全眼鏡を着用すること。
    - その他の保護具: 必要に応じて長袖の衣服等を着用すること。
- 衛生対策: 産業衛生および安全慣行に従うこと。休憩前や仕事の終わりには手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 直径約 1/8 インチ（約 3mm）の灰色の樹脂製ロッド
- 臭い: 利用不可（特記なし）
- pH: 決まっていない
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 安定
- 避けるべき条件: 酸化剤から遠ざけ、直火に近づけないこと。熱分解を防ぐため、過熱（特に 200°C / 392° F を超える長時間の加熱）を避けること。
- 混触危険物質: 強酸および酸化剤。プロセス中にアセタールホモポリマーおよびアセタールコポリマーとの接触を避けること。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。
- 危険な分解生成物: 二酸化炭素（CO2）、一酸化炭素（CO）、窒素酸化物（NOx）、塩化水素（HCl）およびその他の危険な煙や物質。

11. 有害性情報

- 毒性情報: 本製品としての毒性試験データはない。樹脂粒子は眼や吸入時に機械的刺激を与える場合がある。200℃を超える長時間の加熱分解により塩化水素ガスや一酸化炭素が発生し、健康被害を引き起こすおそれがある。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: 本製品についての生態学的情報はありません。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: ほとんどの熱可塑性樹脂と同様に製品はリサイクル可能であるため、可能であればリサイクルを優先することが望ましい。適用される県および地方自治体の規制（廃棄物処理法等）に従って廃棄すること。
- 容器・包装の適正な処理方法: 公的規制に従って適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（規制されていません）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS
    - GHS 分類ガイダンス
    - JIS Z 7253 : 2019

- JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。